

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミ D	単位認定	1	井本 英子

【ディプロマポリシーとの関連】

<技能・活動的領域(技能・表現)>

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する(音楽・造形・体育など)の実践力を身につけている。
6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

子ども学ゼミ C で学んだ様々な音楽の手法の基礎的な技術と技能を応用して、さらに高度な技術と技能を身に付ける。

到達目標: ・ピアノソロ曲を仕上げて演奏できる。

・アンサンブル曲を仕上げて演奏できる。

・さまざまな音楽あそびを実践することができる。

【授業の概要】

演習。各人の技術向上及びグループワーク。子ども学ゼミ C「音楽」の応用編。課題は1回完結ではなく継続して積み重ねて学習してレパートリーを増やす。子ども学ゼミ C「音楽」(前期)の単位認定者であることが受講条件。各項目の学習において使用する楽曲は受講生に合わせて選曲する。 子ども学ゼミ B とは異なる楽曲での学習となる。

【全体の授業計画・内容】

1. ピアノ奏1(右手の練習曲)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

2. ピアノ奏2(左手の練習曲)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

3. ピアノ奏3(楽曲ソロ演奏)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

4. ピアノ奏4(連弾)

事前学修課題:連弾曲について調べる。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

5. ピアノ奏5(コード奏)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

6. ピアノ奏6(発表)

事前学修課題:発表に向けて課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:発表した課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

7. リズムあそび

事前学修課題:リズムあそびについて調べる。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習してリズムあそびを実践できるように復習する。【0.5 時間】

8. うたあそび

事前学修課題:うたあそびについて調べる。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習してうたあそびを实践できるように復習する。【0.5 時間】

9. 楽器あそび

事前学修課題:楽器あそびについて調べる。【0.5 時間】

事後学修課題:授業内容を復習して楽器あそびを实践できるように復習する。【0.5 時間】

10. 楽器アンサンブル1(奏法)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

11. 楽器アンサンブル2(パート練習)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

12. 楽器アンサンブル3(合わせ練習)

事前学修課題:本時のための課題曲を練習する。【0.5 時間】

事後学修課題:課題曲を復習して習熟する。【0.5 時間】

13. 楽器アンサンブル4(指導法)

事前学修課題:楽器アンサンブルの指導案を考える。【0.5 時間】

事後学修課題:授業を振り返り指導案を修正する。【0.5 時間】

14. 楽器アンサンブル5(発表)

事前学修課題:発表に向けて課題曲を習熟する。【0.5 時間】

事後学修課題:発表を振り返り更に習熟する。【0.5 時間】

15. まとめと振り返り

事前学修課題:授業内容全体を振り返り復習する。【0.5 時間】

事後学修課題:取り組んだ内容を实践できるように習熟する。【0.5 時間】

【学習のあり方】

課題曲を練習して授業に臨むことが受講条件。課題曲の予習ができていない場合は、授業に参加できない。また、グループワークにおいては自発的、積極的でない場合は授業に参加できない。欠席すると、合奏・合唱・グループワーク全てにおいて支障をきたすので全出席が基本。実践に向けて、課題曲を復習すること。

【成績評価】

学習意欲及び授業内での習熟度(60%)、授業内発表・試験(35%)、レポート(5%)
上記3項目のそれぞれ 60%以上の点数取得が合格条件。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

小テストやレポートには適宜コメントを記入或いは説明・指導をして返却する。

【テキスト】

適宜教材配布する。テキスト(教材)を忘れた場合にはレッスンは聴講となる。

【参考文献】

授業内で指示する。

【実務経験の有無】

無